

様式第1号（第4条関係）

南国市緊急通報装置利用

本人による署名の場合は押印は不要です。
本人以外の者が代筆する場合は、押印が必要です。

南国市長 様

申請者 署名又は記名押印 南国 花子 続柄 長女

申請者として記入できるのは、
本人またはその親族です。

住 所 南国市*****

電話番号 ***-***-****

南国市緊急通報装置利用助成金の交付を受けたいので、南国市緊急通報装置利用助成金交付要綱第4条1項の規定に

助成対象者	フリガナ	この欄は、 <u>介護支援専門員</u> が記入する必要があります。			
	氏名	*居宅介護支援事業所等と契約していない方 → 南国市地域包括支援センター *居宅介護支援事業所等と契約している方 → 契約している介護支援専門員			
	住所	【理由について記入する際のポイント】 (例) 疾患的リスク（再発性の高い疾患・転倒・認知症等）、同居(独居)の状況、本人の通報動作、居宅での生活についての不安（家族が皆県外に住んでいるので、意識を失って倒れても誰にも気づいてもらえない、一度転倒すると介助されないと身動きが取れない等）			
	身体障害者手帳				
緊急通報装置が必要な理由	※この欄は、 <u>助成対象者は、心筋梗塞の既往があり医師より再発のリスクが指摘されている。発症時に119番通報しようとするも胸痛で意識もうろうとなり通報できず倒れ、たまたま訪れた家族が発見し救急搬送された経緯がある。独居のため、再発時に通報できない不安があり緊急通報を希望しているため。</u>				
	事業所名	<u>居宅介護支援事業所</u>	<u>〇〇〇</u>	介護支援専門員	<u>高知 友子</u>
同居の状況	<input checked="" type="checkbox"/> <u>独居</u> ・ <input type="checkbox"/> 同居 ※同居の場合は以下に同居の者について記入すること。				
	氏名	続柄	年齢	同居の者の状況	
	住民票上は同世帯だが別居、または同居しているが住民票は別世帯などの場合は、「同居」とし、同居者の状況について「県外に単身赴任中」「施設入所中」「本人の介護のため週2日程度滞在している」等詳細を記入してください。				
連絡協力員	※契約予定又は契約済の指定事業所との利用契約に係る協力員又は連絡員について記入すること。				
	優先順位	氏名	続柄	住所	電話番号
	1	<u>南国 花子</u>	<u>長女</u>	<u>南国市*****</u>	<u>***-****</u>
<p>【利用者から南国市緊急通報装置利用助成交付申請を希望された介護支援専門員様へ】</p> <p>申請時点で介護保険サービスを利用されている方については、申請時に<u>居宅サービス計画及び利用者基本情報（アセスメントシート）</u>を添付して提出して頂くようお願い致します。</p> <p>また提出時に<u>居宅サービス計画に南国市緊急通報装置利用助成金交付事業を位置付けてください</u>。もし居宅介護支援事業所や担当の介護支援専門員の変更等あれば、必ず引継ぎして頂くようお願いいたします。</p> <p>万が一、入院や施設入所等による事業の利用終了、同居状況の変更など事業対象外事由の発生などありましたら、助成対象者及びその家族に南国市へ連絡するよう促して頂き、また助成対象者等から連絡が難しい場合には、介護支援専門員様よりご連絡ください。</p>					
<p>承諾書</p> <p>南国市緊急通報装置利用助成金の交付の可否の決定のために必要があるときは、私の居宅サービス計画及び利用者基本情報について、担当の介護支援専門員に照会し、確認することに同意します。</p> <p>また、この申請の内容又は交付の決定を受けた場合における申請内容変更の申出の内容若しくは助成中止の申出の事実を契約予定又は契約済の指定事業所に通知することに同意します。</p>					
助成対象者署名又は記名押印					<u>南国 太郎</u>